

10. S V 疑問詞 to

Desert Island

目標：主語＋動詞＋人＋疑問詞＋to＋動詞の原形を用いて「(人に対して)どのように～する」と表すことができるようになり、主語＋be 動詞＋形容詞＋that で「きっと～だ」とあらわすことができるようになる

対象：中学2年生

時間：20分

準備物：ワークシート

このタスクの進め方

○Pre-task

- 1、Step 1 として教師は生徒一人を指名し、その生徒と Model dialog を読む。生徒は空欄を埋める。その後、ペアと答えをシェアし、最後に全体で答え合わせ。(3分)

A: I'm fine too. By the way, do you want to go to deserted island?

B: Yes, I do.

A: Really? Are you sure you can survive?

B: Of course. I'm sure I can survive.

A: That's nice, so who would you like to go with?

B: I would like to go with Taro.

- 2、Step 2 として生徒に無人島についてえのマインドマップを書かせる。(3分)
- 3、Step 3 として、生徒に無人島で一人で一週間過ごす場合、何を持っていくか(3つ)を答えさせる。(1分)
- 4、Step 4 として、無人島についての質問を考えさせる。これは Step 5 の会話練習で使うことも知らせる。(5分)
- 6、授業の最後に、この活動に関しての自己評価をさせる。(2分)

○Task

- 1、Step 5 として、Model Dialog をもとに生徒に会話の練習をさせる。
- 2、Step 5 では教師がペアを作り、時間に配慮しつつ、生徒に会話をさせる。
- 3、ルール説明を行い、3回目以降は文章を見ずに会話に挑戦させる。
- 3、英語が苦手な問題文を作れない生徒でもアクティビティに参加できるようにするために、予め例を作っておく。

ワンポイント・アドバイス

- ・各 Step でペアと答えをシェアさせ、英語を使用できる時間を増やす。
- ・ペアは教師が決める。
- ・自己評価の欄を使い、生徒に自己評価をさせる
- ・Conversation Strategies のリストを作り、生徒らがより自然な英会話ができるようにする。

(仲谷優斗)